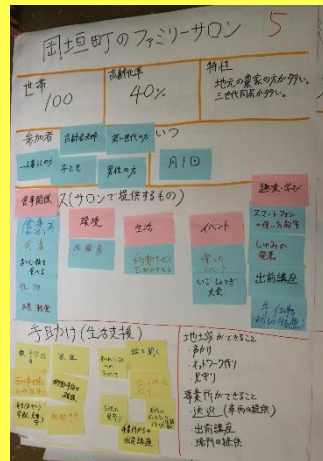


# 岡垣町 話し合いの場・ニュース

2017.11.18 vol.4



【作成】社会福祉法人 岡垣町社会福祉協議会

【問合せ】岡垣町役場福祉課(松山・社川) ☎282-1211 / 岡垣町社会福祉協議会(江口・田之上) ☎283-2940

## 既にある取り組みも、ちょっと見方を変えると新たな効果が。

いこいの里 / 参加者 37名

### 全体のおおまかな流れ

まずは集まって  
みんなで話そう！

町や地域の  
課題・現状は？  
今から何が必要？

こんなことやりたい！

やりたいことで  
グループをつくろう！

やりたいこと  
の企画

- ・目的は？
- ・対象は？
- ・場所は？など

やってみよう！  
やりたいことの実践



第4回「話し合いの場」には、37名（地域住民10名、民生委員・児童委員10名、事業所等17名）が参加しました。今回は、地域に根づく助け合いは「居場所づくり」から出発していることに着目し、**現在ある地域の居場所を『ちょっとした手助け』につなげる運営のあり方**について考えました。

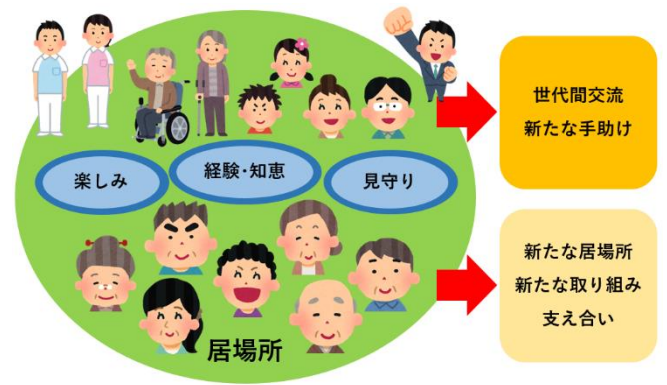
特に、これまで高齢者を中心に取り組まれてきた「ふれあいサロン」は、現在43自治区まで広がった地域の居場所であり、サロンを有効に活用することで地域も事業所も一緒に助け合いを作っていきたいという意見が多く聞かれました。

### 本日のプログラム

1. 開会
2. 前回のふり返り（社協から）
3. グループ編成（7グループ）
4. 意識確認 “ふれあいサロンクイズ”
5. グループワーク “モデルサロンの企画『〇〇町の●●サロン』”
6. まとめ
7. 次回案内、閉会

# 居場所で知りあい、育まれた関係性が「手助け」を生み出す

これまでの話し合いや岡垣町での取り組みを思い返してみると、地域に身近な「居場所」を通して新たな助け合いが生み出されてきたことが分かります。人が集まると、困りごとや悩みごと、反対に経験や知恵、みんなが持っている“情報”も集まります。高齢者だけでなく、障害のある方や子育て世代、子どもたち、事業所など、居場所に集う仲間の輪が広がると、楽しみや出来ることの可能性も広がっていくのです。



## ①「ふれあいサロンクイズ」から

Q1. 現在、ふれあいサロン活動に取り組んでいる自治区の数は？

→ 43区

これは、年間3回の要件を満たし、助成金の交付を受けている自治区の数です。サロンだけが居場所ではないので、サロンは実施していない12自治区でも、それに代わる何らかの居場所があると考えられます。



Q2. 昨年度、サロンを最も多く実施した自治区の年間実施回数は？

→ 43回

最多は年間43回（旭東区）で、月平均3回以上実施しています。

- ・ 3～6回…………… 21区
- ・ 7～9回…………… 7区
- ・ 10回以上………… 11区
- ・ 20回以上………… 3区
- ・ 40回以上………… 1区
- （未実施：12区）



Q3. 昨年度、サロンに子どもが参加した実績のある自治区の数は？

→ 16区

サロンを実施した43区のうち、37%にあたる16区が子どもが参加した実績がありました。その内容はレクリエーション関係が多く、流しソーメンや竹細工、クリスマス会等を恒例にしている区もあります。



## ②サロン企画『〇〇町の●●サロン』

今回のまとめとして、モデルサロンを企画するワークショップを行いました。グループごとに地域特性を設定し、どんな参加者に対してどのような内容に取り組むことで、どう助け合いに取り組むかまでを想定して意見を出し合いました。

事業所のみなさんは、地域の居場所に対して「事業所としてできること」を提案し、“地域を知りたい”と話していた事業所と地域の接点となる入口が具体的に見えてきました。

### 「事業所ができること」として出てきた意見

- 相談コーナー
- 介護予防
- 場所の提供
- 情報の発信
- 人材の派遣
- 車両の貸し出しや送迎
- 見守り など

